

## 開会のご挨拶



### 木村 容子 先生

東京女子医科大学 東洋医学研究所

お茶の水女子大学を卒業後、中央官庁入省(国家公務員1種)  
英国Oxford大学大学院 修士課程修了

2000年 東海大学医学部(学士入学)卒業

2002年 東京女子医科大学附属 東洋医学研究所 助教

2007年 同 研究所 講師

2008年 同 研究所 副所長

2010年 同 研究所 准教授

本シンポジウムは、寺澤捷年先生、後山尚久先生と歴代コーディネーターが掲げてこられた「こんな時には漢方を」の基本コンセプトを継承しつつ、「漢方エキス製剤の上手な使い方～困ったときの この一手～」と題し、新たな目線で現代医療へエキス漢方を取り入れる実践的な方法をご紹介しますと考えております。明日からの実臨床に役立つシンポジウムとして、二部構成といたしました。

第一部は「困ったときの この一手」ということで、今回は泌尿器科、血液内科、脳神経外科、小児科/耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科/漢方診療科の先生方が、日常診療でどんなことに困り、漢方治療を取り入れているのか、その具体例を提示していただきます。

第二部では、「人参養栄湯と加味帰脾湯の口訣を考える」として、高齢者医療に欠かせない“気血両虚”の2処方について、有効例を通じて、処方の臨床応用さらには使用目標、すなわち“現代の口訣”を考えたいと思います。